



2026 年 8 月 13 日

各位

会社名 ト ヨ ク モ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 山本 裕次
(コード番号：4058 東証グロース)
問合せ先 取締役経営管理本部長 石井 和彦
ir@toyokumo.co.jp

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2026 年 2 月 13 日に公表した 2026 年 12 月期通期の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

	売上高	EBITDA (注)	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,800	百万円 2,170	百万円 1,900	百万円 1,900	百万円 1,300	円 銭 119.67
今回修正予想 (B)	6,000	2,370	2,100	2,100	1,400	128.87
増減額 (B－A)	+200	+200	+200	+200	+100	-
増減率 (%)	+3.4	+9.2	+10.5	+10.5	+7.7	-
(参考) 前期連結実績 (2025 年 12 月期)	4,858	1,850	1,605	1,608	1,085	99.36

注 EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

※ 当期予想の 1 株当たり当期純利益は、2026 年 6 月末時点における自己株式数を考慮しています。

2. 修正の理由

当社グループは、「すべての人を非効率な仕事から解放する」というミッションの下、企業向けクラウドサービスを開発し、非効率な仕事から働き方を変革する DX サービスを提供しています。

主力サービスのひとつである安否確認サービスに関しては、従前より注力していたトヨクモブランドの構築が奏功し、他社からの乗り換えや大型契約の獲得も順調に増加しました。

また、サイボウズ株式会社の業務アプリをつくることのできるクラウドサービスである kintone の拡大とともに、当社の kintone 連携サービスもユーザーライセンスなどの利用が想定を上回って推移しました。

その結果、前回発表予想と比べ 200 百万円増加し、売上高は 6,000 百万円となる見通しです。

費用面につきましては、売上が前回発表予想を上回る予想であることから、広告宣伝費を中心に積極的な追加投資を行う予定です。その結果、利益項目につきましては、EBITDA は前回発表予想と比べ 200 百万円増加し 2,370 百万円、営業利益は同比 200 百万円増加し 2,100 百万円、経常利益は同比 200 百万円増加し 2,100 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同比 100 百万円増加し 1,400 百万円となる見通しです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上